

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2023年6月20日
明治大学の所属学部・研究科	政治経済学部政治学科(学部/ 学科/ 研究科/ 専攻等)
留学(渡航)した時の学年	4年生
帰国年月日	2023年6月11日
明治大学卒業予定年月	2024年3月
留学先大学について	
留学先国	アメリカ合衆国
留学先大学	コロンビア大学(日本語名) Columbia University(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語/ 英語
留学期間	2022年9月～2023年5月
留学先大学で在籍した学年	4年生
留学先の所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名(日本語): 専門教育学部 (現地言語での名称): School of Professional Studies <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input checked="" type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 記入例: 1学期/4月上旬～7月下旬、 2学期/9月中旬～2月上旬	1学期: 9月上旬～12月下旬 2学期: 1月中旬～5月上旬 3学期: ～ 4学期: ～
学生数	31,455
創立年	1754

留学費用			
留学費用項目	現地通貨 (ドル)	日本円	備考
授業料	\$75,042	10,657,727 円	うち 540 万円はトップユニバーシティ S 奨学金、\$2,000 がコロンビア大学奨学金より支払われた
宿舍費	\$12,030	1,708,675 円	International House 滞在費
食費	\$900	127,821 円	寮の食堂は 1 食\$10 前後
図書費	\$100	14,202 円	教科書を何冊か購入したため
学用品費	\$50	7,101 円	
携帯・インターネット費	\$300	42,607 円	月\$30 のイエローモバイルを契約
現地交通費		円	(<input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	\$8,000	1,136,188 円	
被服費	\$1000	142,023 円	
医療費	0	0 円	コロンビア大学の医療機関を無料で使える
保険費	\$5,497	780,703 円	形態:Medical Insurance, Health and related Service
渡航旅費		円	JAL のマイルで取ったためなし
ビザ申請費	\$610	86,634 円	
雑費	\$2,203	312,877 円	コロンビア大学の Ebill に含まれていた雑費
その他		円	
その他		円	
合計	\$105,732	15,016,428 円	

渡航関連	
渡航経路	
往路	出発地:羽田 目的地:JFK 経由地:なし
復路	出発地:JFK 目的地:羽田 経由地:なし
渡航費用	
① 往復チケットを購入した場合	航空会社:
	料金:
② 片道ずつチケットを購入した場合	往路 航空会社:JAL 料金:マイル
	復路 航空会社:JAL 料金:マイル ∴合計:マイル
航空券購入方法	
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名:)	
<input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名:JAL)	
<input type="checkbox"/> その他()	

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

学生寮(寮の名前:International House) アパート ホームステイ

2)部屋の形態

個室 相部屋(同居人数)

3)共有部分

バス トイレ キッチン(自炊可 自炊不可)

4)住居を探した方法:

明治大学出身でコロンビア大学院に進学した先輩をゼミの教授から紹介していただき、その方に紹介していただきました。

5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

コロンビア大学に留学したのではなくInternational Houseに留学したのではないかとも思うくらい、濃密な時間を過ごしました。約700人ほどが住む大規模な寮で、コロンビアの大学院生、音楽学院の生徒、働いている人など様々な人が住んでいました。イベントが毎日のように開催され、共用スペースもたくさんあるため国際色豊かな人と友達になれます。大学よりも寮の友達が多いほど、本当に人と知り合って仲良くなるには絶好の場所だと思います。様々な国の人との出会いやコミュニケーションが大好きな人にはオススメです。お酒を飲むイベントが多いため、一応21歳以上からという制約があるみたいですが、実際にはもっと年下の人も入居していたため、問い合わせてみると意外と大丈夫だと思います。

現地情報

1)留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例:現地の病院、学内の診療所)

なし
あり(治療を受けた場所:学内の診療所)2)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
(例:留学先大学の相談窓口、現地の友人等)なし
あり(問題の内容や相談した人等:)

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか?その際どのように対処しましたか?

外務省から送られてくるメールのチェックをする、またコロンビア大学の危険地域情報に登録して危険なことがあった場合はメールでアラートが来る仕組みにしていた。暗くなってからは誰かと行動するか、一人の時はタクシーを使うなどなるべく出歩かないようにした。また、ハーレムやブロンクスなど危険地帯には日中からなるべく一人では行かない、そしてそもそも行かないようにしていた。一度ホームレスの人に追いかけて怖い思いをしたことはあったが、特に犯罪に巻き込まれたことはない。

4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWiFi接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

問題なく使用できた。寮と大学のWi-Fiは基本的に安定していた。外出先でも駅にWi-FiがあるなどどこにでもWi-Fiがあったので、特に困ったことはない。また、Wi-Fiがない際は自身の携帯のデータを使用していた。

5)現地での資金調達はどうに行いましたか?(例:現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

基本的にはクレジットカードを使用し、日本の口座から毎月引き落とされるようにしていた。友人とのお金のスムーズなやりとりのためバンク・オブ・アメリカを開設した。銀行に行って1時間ほどで開設できた。

6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。

ID文化で、飲食店やコンサート会場に入る際などよくIDをチェックされるので、もしあればパスポート以外の写真付き身分証明書となるもの。パスポートを日頃持ち歩くのはリスクが高いので、常に持ち歩ける身分証明書があれば便利だと感じた。

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

渡航前の8月末に1学期目の授業料をクレジットカードで支払った。2学期目は1月頭に自身のクレジットカードで支払った。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
26 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input checked="" type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:卒業要件を既に満たしているため)
2)履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 履修の制限があった:	
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Self-Determination and Making of the 20th Century	20 世紀における民族自決
科目設置学部・研究科	History
履修期間	Fall 2022
単位数	4
本学での単位認定状況	0 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義、ディスカッション(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回と 50 分が 1 回
担当教授	Marcel Garbos
授業内容	20 世紀の欧米の歴史を民族自決を軸に勉強する。
試験・課題など	リーディング週に 100 ページ程度、持ち帰り型中間テスト、1,200words 程度のペーパー2 回と 3,000words のペーパーが 1 回。
感想を自由記入	欧米の歴史についてバックグラウンドの知識がなかったため、最初はついていくのが大変だった。授業を録音させてもらい、家で復習したり、毎週教授のオフィスアワーに通って質問したりしていた。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Ancient History of Mesopotamia and Asia Minor		古代メソポタミアとアジアマイナーの歴史	
科目設置学部・研究科	History		
履修期間	Fall 2022		
単位数	4		
本学での単位認定状況	0 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義とディスカッション(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回と 50 分が 1 回		
担当教授	Marc Van De Mieroop		
授業内容	古代メソポタミアの歴史を発掘物などを用いて学ぶ授業。		
試験・課題など	リーディングが週 50 ページ程度。中間テストと期末テスト、ダブルスペースで 2 ページのショートエッセイが 3 回。		
感想を自由記入	当初は履修期間ギリギリで空いている授業を、と思い、特に思い入れのないまま履修したのだが、教授がとても造詣の深い方でとても面白い授業であった。全く知らない分野の歴史を1から学ぶことができてとても興味深かった。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
The Science of Living Well		よく生きるための科学	
科目設置学部・研究科	Psychology		
履修期間	Fall 2022		
単位数	4		
本学での単位認定状況	0 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義とディスカッション(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に 135 分が 1 回と 75 分が 1 回		
担当教授	Scott Kaufman		
授業内容	心理学の基本を学ぶ授業で、週に一回のディスカッションでは、少人数で集まり、教科書に載っているワークを行ってその結果感じたことをシェアする時間が設けられた。		
試験・課題など	リーディングは週 50 ページ程度。毎週教科書のワークの振り返りを 1,000words 以内で提出する。家で解くタイプの中間試験と期末試験、そして 2,000words 程度のエッセイが期末に課せられた。		
感想を自由記入	毎週のディスカッションセッションで、自分のワークの結果や感想をシェアしなければならなかったため、書いてきたものをそのまま読むのではなく、文章をその場で要約してわかりやすく伝える力が培われた。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
FEMINISM/POSTMODERNISM IN ART		アートで考えるフェミニズムとポストモダニズム	
科目設置学部・研究科	Art History		
履修期間	Spring 2023		
単位数	3		
本学での単位認定状況	0 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回		
担当教授	Rosalyn Deutsche		
授業内容	1980 年代前後のアート作品を用いながら、フェミニズムとポストモダニズムについて考える。		
試験・課題など	中間試験と期末試験、ダブルスペースで 8 ページ程度のエッセイが期末に課される。		
感想を自由記入	今までアートに関連した授業を取ったことがなかったので、新鮮でとても面白い授業であった。美術館がたくさんあるニューヨークでアートについて学び、よりシティを楽しめるようになった。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
INTRO EAST ASIAN CIV: JPN		日本の文明化	
科目設置学部・研究科	East Asian Languages and Cultures		
履修期間	Spring 2023		
単位数	4		
本学での単位認定状況	0 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義とディスカッション(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回と 50 分が 1 回		
担当教授	Gregory Pflugfelder		
授業内容	日本の歴史を総ざらいする授業。		
試験・課題など	リーディングは週 100 ページ程度。中間試験と期末試験、最後に 12,000words 程度のエッセイがあった。		
感想を自由記入	アメリカ人の教授のもと、アメリカ人のクラスメイトと共に日本についての授業を受けたことで、日本ではなく他国の視点から日本について学ぶことができたので面白かった。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Religion and Nasty Women		宗教と醜い女たち	
科目設置学部・研究科	Religion		
履修期間	Spring 2023		
単位数	4		
本学での単位認定状況	0 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義とディスカッション(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回と隔週で 60 分が 1 回		
担当教授	Clemence Boulouque		
授業内容	宗教で用いられる聖書や神話を用いて、いかに家父長制の社会の中で女性たちが扱われてきたかを学ぶ授業。		
試験・課題など	週 100 ページ程のリーディング。中間エッセイ課題が一つと、最後に 持ち帰りタイプの期末試験があった。		
感想を自由記入	日本ではあまり宗教に関連した教育を受けてこなかったため、ガッツリ宗教と組み合わせて考える授業は新鮮だった。自身が無宗教なこともあり、キリスト教の学生などが議論している内容はいまちピンと来なかったが、キリスト教社会のアメリカで宗教に関する授業を履修できたことは、その国の文化を学ぶ上でとても役に立った。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
INTRO TO SEXUALITY STUDIES		セクシュアリティ学入門	
科目設置学部・研究科	Women's and Gender Studies		
履修期間	Spring 2023		
単位数	3		
本学での単位認定状況	0 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回		
担当教授	Jack Halberstam		
授業内容	セクシュアリティに関する文献を読み、歴史や用語について詳しく学ぶ。		
試験・課題など	週に 100 ページ程度のリーディング。ダブルスペースで 4~6 ページのエッセイが合計 3 つと、メディアプロジェクトとして、クラスメイトと協力して動画を作る課題が出された。		
感想を自由記入	ジェンダー学やセクシュアリティについての授業は日本の大学ではあまり開講されておらず、アメリカならではの感じのため、とても貴重な経験となった。より自由でオープンマインドなアメリカでジェンダー系の授業を履修したことで、自分自身の価値観が広がり、よりリベラルで多様性を受容するオープンマインドな人間になれた。		

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記 2 以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:

2)進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関など

CFN(ボストンキャリアフォーラム)、外資就活ドットコム

3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)

※就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

三菱 UFJ 銀行

金融の中心地であるニューヨークで生活したことで、金融業界への興味をもったのがきっかけです。自分自身特定の分野に興味があったり強く仕事としてやりたいことがあるというよりは、幅広い業種の人と出会えてビジネスを学ぶことができる業界・企業に入りたい、そして将来的に海外駐在があるなどグローバルに活躍できる機会が多くある所に入りたいと考えていたため、それに最終的にマッチしたのが三菱 UFJ 銀行だったからです。

4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。

(例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)

※就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

留学中は留学先での生活が忙しく充実しているため、正直就活なんて今やりたくない、、、と思っていましたが、ボストンキャリアフォーラムに事前登録して何社かエントリーしておいたことで、内定につながったので、留学中の忙しい合間を縫ってぜひオンラインでできることを事前にやっておくといと思います。特にアメリカ近辺に行く方はボストンキャリアフォーラムで、留学しながらでも内定をもらえたり選考が進んだりする機会があるので、少しでも事前に ES などを提出しておくのちのちやってもよかったと思えると思います。私自身も留学中に内定があったことで、残りの留学期間就活のことで思いつめすぎず満喫することができました。私は 4 年生で留学して、1年間留年して5年間で卒業するという形だったので、最初は何か就活中不利に働くかと不安でしたが、それで就活が不利になることは全くなく、むしろその期間で自分のやりたいことを考えて行動に移した結果が評価されたので、留学で就活を不安に思う必要はあまりないと思います。

5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。



留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、
期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	留学を決意、語学勉強
	10月～12月	TOEFL 受検(100 超えられず)、IELTS 受検(7.0 取得)、学内選考出願
留学開始年	1月～3月	学内選考内定、留学助成金 S 内定、ワクチン 3 回目接種
	4月～7月	コロンビア大学出願、合格通知、ビザや住居、航空券等手続き
	8月～9月	履修登録、渡航
	10月～12月	中間試験、秋休み、ボスキヤリ、期末試験、12 月末で 1 学期終了
留学/帰国年	1月～3月	2 学期目開始、3 月頃中間試験、春休み
	4月～7月	期末試験、5 月上旬で学期終了、旅行し 6 月に帰国
	8月～9月	
	10月～12月	



留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイスなど、自由に記入してください。

中学で2週間のイギリス語学研修、高校で3ヶ月のカナダ語学研修に参加したことで、海外での未知との出会いの楽しさに目覚め、大学では1年間の長期留学を実現させ自分の価値観を広げると決め、入学しました。当初は在学2年時の留学実現に向け準備していましたが、コロナ禍に突入し、何度も留学計画が中止になりました。それでもやはり大学生活1番の目標であった長期留学を実現させないと卒業できない、と感じ、留年してでも留学することを決意しました。明治大学に数多くある充実した留学プログラムの中でもコロンビア大学を選んだ理由は二つあります。世界トップレベルの大学であることと、ニューヨークシティに位置していることです。私の留学の目的は、「異文化に触れ、自身の価値観をアップデートする」ことだったので、様々なバックグラウンドを持ち、トップレベルに優秀な人が集まる多様性に富んだコロンビア大学は、目的を達成するのに最適であると考え、選択しました。コロンビア大学のみならず、大学外の時間も刺激的で学びのある時間にしたかったため、アメリカの中でも中心的な都市で面白い人がたくさん集まるニューヨークシティに魅力を感じました。

大学の雰囲気としては、学部生はアメリカ人が多い印象で、大学院生は中国やインドなど国際的な人が多い印象でした。私は学部生の授業を履修していましたが、ほとんどの授業で非ネイティブスピーカーは私1人、留学生は私1人、という状況でした。アメリカ人以外の国際的な学生でも、正規生であることが多く、私と同じ留学という形での参加者は少数でした。どの学生もよく勉強して、議論が大好きであるという印象を受けました。学期中は学業優先で、真剣に取り組んでいる学生が多いです。学期が短い分、凝縮して学ぶので、課題がとて多く、常に勉強していないととても間に合いません。大学内には図書館などたくさんの勉強するスペースがあり、常に勉強する雰囲気で賑わっていた大学でした。コロンビア大学では、講義の他に少人数で行われるディスカッションセッションがある授業もあったので、そこで話した人と仲良くなるのが多かったです。1つの授業あたり、講義やディスカッションなどでクラスメイトと顔を合わせる機会が1週間に2、3回あるので仲を深めやすく、授業後に一緒に昼食を取ったり、試験前は一緒に勉強をしたりしました。私は様々な学部の授業をとることができたので、その機会を活かして幅広く履修しました。歴史、心理学、宗教、美術史、ジェンダー学など数多くの授業を履修しました。課題量がかかり多く、特に歴史の授業は授業前に課されるリーディングの量が凄まじいので、最初は予習復習の仕方を試行錯誤し、翻訳機も駆使しながら、なんとか乗り越えて行きました。授業前に取り組むリーディング量は週に各授業100ページ程で、頻りにエッセイも課されるので慣れるまではかなり大変でした。一番印象に残っている授業は、秋学期に履修した西欧の歴史の授業です。バックグラウンドの知識が乏しい私は、早口の教授が授業で何を言っているのかさっぱり分からず、絶望的な気持ちで初日を迎えました。そこから教授のオフィスパワーに通い、授業録音の許可を取って家でそれを聞きながら復習したり、わからないところは都度教授やクラスメイトに質問したりするなどして工夫していました。結果的に秋学期目はGPA 4.0を獲得し、1年を通してはGPA 3.6を獲得できたので、頑張れば食いつけるし、結果もついてくることを実感できました。ジェンダー学の授業は日本の大学であまり履修できる機会がないので、貴重な学びの機会となりました。どの授業もしっかり勉強しないとついていけないので、自然とよく学ぶようになり、興味を持って楽しく知識を吸収していけました。

また滞在先として私は International House というコロンビア大学から徒歩10分程の国際寮に住んでいました。明治大学の卒業生で、私と同時期にコロンビア大学の修士課程に在籍されていた先輩に紹介していただき、この寮を知ることとなりました。コロンビア大学が運営している寮ではないのですが、コロンビア大学の大学院生が多く住んでいました。他にも近くの音楽学校の生徒や NYU の学生、働いている人、ファミリーなど多様な経歴を持つ人が集まっていました。700人程が住む寮で、100カ国以上から人々が集まる国際色豊かな場所でした。アメリカ人も30%程度いましたが、ほとんどが国際的なので、個人的にはコロンビア大学よりも自分の英語について不安にならずに話せたり、ほっとできたりする場所でした。寮では様々なイベントが毎日のように開かれ、友人がたくさんできました。様々な人がお金を寄付して成り立っている NPO 法人なので、入寮するにもエッセイを書くなど手間がかかりますが、そうまでして入る価値は十二分にあると感じました。国連ツアーに無料で参加できたり、フランス大使と NYU の教授が対談するイベントが International House で行われたりとアカデミックなイベントが多いことも寮の特徴の1つです。寮の雰囲気は、まるで小さな国連のようだと常々思っていました。ここで出会った友人とは一生の友人になると確信できるほど、濃密な時間を毎日過ごしました。もちろんコロンビア大学の授業でも何人かとても仲良くなる友達ができましたが、私の交友関係のほとんどは住んでいた International House で形成されました。私は個人部屋でしたが、水回りは全部共用でキッチンもなかったため、何をしても部屋の外に出なくてはなりません。そこで、廊下ですれ違う人と挨拶して自己紹介をしているうちに仲良くなったり、たまたま座ったダイニングホールのテーブルに他の人も混ざってきて一緒に今度出かけることになったり、、、と毎日さりげない瞬間に新たな出会いがありました。同じ寮に住んでいるので顔を

合わせる機会がたくさんあり、自然と仲が深まっているような、そんな関係を築きました。寮に体育館があり、そこでバスケットをするうちに毎週金曜日にバスケットをする仲間ができ、みんなでコロンビア大学のバスケットーナメントに Team House として出場するなど、クラブのような活動も寮でできました。また、仲良くなったメンバーと近くの島に旅行へ行ったり、ハイキングをしたりと休日やホリデー中もよく一緒に過ごしたのは寮のメンバーでした。最後の方は友人と言うよりも家族に近いような、とても親密な関係を築くことができました。私の友人はディスカッションが好きで、よくみんなで社会問題や環境問題についての意見交換をしたり、スタートアップのアイデアを練ったりと、多様な背景を持つ友人と好奇心が満たされる刺激的な話ができるのもとても楽しかったです。

私は高校時代に留学を志した時から変わらず「異文化体験」をテーマに留学準備を進め、留学に臨みました。たくさんの人との出会いを大切に、異なる価値観を吸収する、そして自分自身の考え方の幅を広げることが目標でした。結論としては、最高の環境で自分自身の目的を達成することができたと思っています。コロンビア大学での授業は本当に多岐に渡っていて、どの授業も教授や講義内容が面白く、学生もとても真面目で優秀なので、刺激を受けます。出会う人は成績が良いという意味での優秀さはもちろんなのですが、それ以上に他の分野でも秀でている人や、何か面白いバックグラウンドを持っている人が多く、世界はとても広くて、可能性に満ち溢れているのだと実感しました。情熱を持って夢を追いかける、人間としての魅力を兼ね備えている人がニューヨークにはとても多く、毎日が新しい人や価値観との出会いでした。最初は圧倒されることもありましたが、徐々に自分の強みってなんだろう、自分はみんながそれぞれ目標に向かって努力することが当たり前の中で、何を持って戦えるだろうか、と自分自身についても深く考えるようになりました。私はコロナで何度も留学が中止になったり、思うように大学生活を送れなかったこともあったりで、なんとなく将来に対しての閉塞感、諦め、妥協のようなものを感じており、留学前は、卒業を延期してまでも行かなくてもいいかな、内定もあるしこのまま就職してまた社会人になってから留学すればいいかな、と半ば留学を諦めかけていました。しかし、いざニューヨークでの留学生活を送ってみて、一気に自分の中の感性が解放され、「世界には可能性しかない！飛び出してきて本当によかった」と心から感じました。それぞれの分野で活躍する友人との交流の中で、自分もこんなふうにならなくても自分のやりたいことを諦めずに好きに自由に挑戦しよう、と本来の自分の熱情が蘇ってくるのを感じることができ、本当に後悔のない留学生活を送ることができました。留学前はなんとなく環境のせいにして、日本だから・コロナだから、、、と妥協するような癖ができてしまいましたが、留学生活を経て、どのような環境・場所においても自分の心持ち次第で良い経験、成長する機会にすることができる、と考え方を転換することができました。みなさんそれぞれの理由で留学を目指していると思いますが、ハイレベルな環境でいろんな出会いや経験をしたい方には、コロンビア大学はとてもおすすめです。面白い人がたくさんいます。明治大学はたくさんの留学プログラムがあり、それぞれ本当に充実しているので、自分の留学の目的と照らし合わせて、選択をするといいと思います！自分の行きたい国や行きたい大学へ実際に留学していた先輩に話を聞いたり、自分でも調べてみたりして、ぜひ自分の理想に合った留学生活を送ってください！豊富な明治大学のプログラムを活かして、みなさんが思い描いていた留学生活を送れることを祈っています。